

(様式第8号)

長野県みらい基金 信州の特色ある学びを实践する事業・団体助成プログラム
助成対象事業実績報告書

2025年4月30日

公益財団法人

長野県みらい基金 理事長 様

申請者

所在地:長野県北安曇郡小谷村大字千国乙11064ゆきわり草

団体名:わくわくおたり

代表者職氏名:会長 北村 順二

※押印は不要です

「長野県みらいベース」において当団体が掲載した「信州の特色ある学びを实践する事業・団体助成プログラム」について、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業名

じぶんにも、ひとにも、「いいね！」が いえるばしょ いいどこ

2 助成対象事業の実施期間

2024年4月1日 ～ 2025年3月31日

3 助成対象事業の内容

不登校の子ども1回月の居場所の開催。開催時間は9時～15時(昼食あり)。

学校に行っていない子どもたちが、平日に家族のもとを離れ、普段とは違った人間関係の中で、楽しく過ごす場所。子どもも大人も、自分も他人も認め合える居場所。開催場所は以前は自宅を宅老所として利用していた、80代夫妻のご自宅。夫妻やスタッフ、お手伝いしてくれる地域の方々と交流する場。

4 事業の成果

毎回、不登校の小学生1～3名が利用。子どもたちが自発的に考え、チャレンジしていく場を想定していたが、開始してみると、家でない場で友達や大人と遊んだり交流する方が良さそうだったため、コンセプトを少し変え、参加し楽しく遊ぶことを重視した。基本的には、80代の夫妻の自宅やその周りで過ごしたが、プールや体育館、スーパーで買い物、動物園や手話講座への参加など社会見学も兼ね、足を延ばすこともあった。また、地域で協力をお願いし、そば打ち体験をさせてもらったり、東京農大の学生の案内で自然観察や収穫体験も行った。

学校とも団体や事業についてお伝えし、参加の子どもたちの様子も伝えることができ、秋には2名の児童が登校するようになった。

また送迎の際やLINEなどで親御さんとコミュニケーションを取って共有したり、休日に家族での参加や、学校に行っている友達も参加できるかたちもとった。

5 助成対象事業の実施状況を示す書類(添付)

(様式第8号)

- (1) 助成対象事業収支計算書
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類

助成対象事業収支計算書

※下記報告書の裏付けとして、領収書のコピーを添付してください

区 分		金額(円)	内 訳	
収 入	① 本助成金	23080		
	② 自己資金	270		
	会費、事業収入、 寄付金など			
	③ その他 補助金等			
収入合計		23350	(A)	
支 出	助成対象経費	会場費	3500	3,000,500
		通信費	480	郵便代
		保険代	3360	560×6回
		消耗品費	5784	お礼／お土産として
		消耗品費	10226	開催時食費等
	計	23350	(B)	
	助成対象外経費			
計		0	(C)	
支出合計		23350	(B) + (C) = (A)	

事業の経過又は成果を証する書類

※写真を以下の枠内に2～4枚添付してください。

※写真以外の成果物(チラシ・リーフレット等)がある場合には、別途送付してください。



みんなのいいとこ

いいとこ

3/14 金

時間 9時～15時

場所 小谷村 立屋岩田家

参加費 500円

(参加費300円お昼200円)

お昼 まだ決まってません

持ち物 ①飲み物

②使いたいもの

運営 わくわくおたり

(まちづくりや居場所を2018年からやっています)

連絡先 wakuotari@gmail.com

